



学びと誇りが実感できるまち ～多くの学びがある職場体験！～

令和7年7月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

ミニトマト

一点の偽りもなく青田あり (山口誓子)

子供たちの楽しい会話が聞こえてきました。

「ミニトマトが赤くなり始めたね。」

「ほんとだ。あれ、上の実の方から赤くなっていくんだね。」

「カタツムリがここのブロック塀にたくさんいるよ。」

「なぜだろう。ここのブロックが好きなのかな。」

「アジサイの花の色が違うのはなぜなのかな。」

「土によって違う色になると聞いたことがあるけど。調べてみよう。」



ブロック塀にいた
カタツムリ

豊かな自然環境に包まれている庄原市です。私たちの身近には多くの生物が生息しています。山や川、田畑など、それぞれの環境に適応した動植物などが存在し、それらが関わり合いながら生態系を形成しています。子供たちには恵まれた環境の中で、新しい発見や気づきなどを大切にしたいと思っています。

さて、今回は中学校第2学年が行っている職場体験学習のことです。

学校によって体験する内容や時期は異なっていますが、地域にある様々な職場などで、生徒たちが5月から7月にかけて（一部の学校では秋に行っている場合があります）体験学習を行っています。（基本5日間）

主なねらいは次の通りです。

「仕事や働くことの理解を深め、その意義や尊さを実感し、望ましい職業観、勤労観を身に付ける。学習を通して社会に貢献する姿勢を培う。」

「働いている人の姿に接し、思いや苦労、喜びなどを体感するなど、将来の進路選択を考える機会とするとともに地域の良さを再確認する。」などです。

【職場体験学習の感想の一部を紹介します】

- 「実際に社会に出た時にどうしたらよいか」というテーマを持って取り組んだ。仕事内容はもちろんのこと、職場の方とコミュニケーションをとることやお客様に商品を届けるということを意識して仕事に向き合うことを学んだ。
- ブドウ園で不要な芽かき作業や誘引作業、房づくりなどを行った。よいブドウを作るための実験を行いながらブドウづくりをされていた。ブドウへの熱くて強い思いが伝わってきて仕事の楽しさや難しさ、頑張る気持ちなど体験できた。
- 保育園で園児たちとうまくかわることができるかと不安だったけど、想像以上に園児たちと過ごす時間が楽しくて自分から進んで活動などができた。やりがいも感じた。先生方が工夫されていることも肌で感じた。今後の学校生活にいかしていきたい。

※ 次ページ：5・6月の活動等の中から、一部写真で紹介します。

令和7年 5・6月 : 活動など **ちょっぴり紹介**



5月31日(土)口和中 体育祭



6月1日(日)庄原中 体育祭



6月2日(月)山内小訪問

6月3日(火)比和中訪問



佐田谷1号墓



佐田峠1号墓



佐田峠2号墓

6月6日(金)史跡「佐田谷・佐田峠墳墓群」訪問 (全部で8基の墳墓群)



6月7日(土)第35回中四国縄文研究会広島大会参加 (時悠館)
「中国山地の考古学」～帝釈峡遺跡群から山間部縄文社会を考える～



6月8日(日) 季釜「さわやかな初夏の茶会」(会場:桜花の郷 ラ・フォーレ)
茶道裏千家淡交会三次支部(薄茶席、立礼席)



6月8日(日)第20回「中学生による英語スピーチ大会」



6月19日(木)
鮎の友釣り(西城川)



6月22日(日)
上野公園池畔に咲く紫陽花